

新型コロナウイルス感染症

「第2波・第3波」に備え、医療体制を充実させ、 市民の暮らしと生業への支援強化を

6月17日に神戸市会本会議がひらかれました。

神戸市は、「再度の感染拡大期に備え、医療提供体制の確保をすすめる」とともに、感染警戒期において『新しい生活様式』を定着させながら、市民生活・経済活動をできる限り回復させていくことが必要である」として補正予算を編成しました。味口議員は、さらなる医療体制の確保と市民生活・経済活動、長期休校による子どもたちへのケアが必要と考え、市長らの見解を求めました。



味口議員が 議案質疑

重症患者受け入れ病院 確保へ独自助成を

この度の補正予算案は、中央市民病院に感染症患者の臨時病棟の整備費を計上するなど、今後の感染拡大対策として、積極的な内容となっています。しかし同時に、中央市民病院だけですべての新型コロナ重症患者を受け入れることになれば、医療従事者に過度の負担がかかるだけでな

く、3次救急や高度医療など本来の中央市民病院の役割が果たせなくなると、医療関係者から不安の声も上がっています。味口議員は、新型コロナウイルス感染症の重症患者を、市内の医療機関が一定程度分散して受け入れる体制づくりを求めました。

質疑項目 新型コロナウイルス感染症対策について

1. 感染流行の「第2波」に備えた医療体制の強化を
2. 学校再開にあたり直ちに教員の増加を
3. 暮らしと生業に早急な支援を

波第3波に備える必要があるのではないかと現場の声を聞いている。

久元市長：重症患者を他の病院で受け入れる可能性を100%排除する訳ではないが、そこに多くを期待することは現状では難しい。中等患者について受け入れていただく方策を講ずることが現実的。

味口議員：神戸大学はどうか。市として神戸大学に重症患者を受け入れてもらい一緒に頑張る体制を呼びかける必要があるのではないかと。

寺崎副市長：今後も県と協

議しながら今名前を出された病院（神戸大学）も含めて、可能な病院についても県の方で調整が進むことも期待している。

味口議員：県への期待にとどまらず、市から積極的に交渉する必要があるのではないかと。中央市民病院の木原院長は「感染の第2波への備えでは地域連携が鍵となる」と発言されている。この間の奮闘に敬意を表し、中央市民病院が負っている荷を少しでも緩和し、第2波第3波へ備えて頑張ってもらいたい。

答弁 ダイジェスト

久元市長：味口議員指摘の通り、中央市民病院だけで対応することはできない。市内全体の連携・役割分担により市民最後の砦である中央市民病院での安定的な医療

提供体制の確保につとめたい。

味口議員：各病院が重症患者を受け入れることになれば経営悪化が必ず起こる。重症患者を受け入れるための補助金メニューなどを神戸市が準備してリスク分散をし、第2

不要不急の巨大開発より市民の命と暮らしを最優先に

「神戸市 with コロナ対応戦略(骨子案)」に みなさんのご意見をお寄せください

5月25日、政府の緊急事態宣言は解除されましたが、今回の新型コロナウイルス感染症は、第2波第3波の到来が予想されます。このため神戸市は、『市の施策だけでなく、市民の生活スタイルや経済活動を「withコロナ」の時代に対応したものへと変容させることが求められ、本戦略の策定により感染拡大の防止と市民生活・経済活動の維持・回復を両立させていくことを目指す』としています。

今回の市民意見募集はこれまでのものとは違い、案の詳細を示す前にゼロベースで意見を聞くという新しい取り組みになっています。さらに久元市長は会見で、不要不急の事業について「コロナが出てきたことによって、優先順位としてはかなり低くなる」と発言しています。

意見募集期間

6月10日(水)～7月3日(金)

今、神戸市として、新型コロナウイルスと共存する「長丁場の時期」にどのような施策をとるべきか、社会の変容を受けて、これまで市が押しすすめてきた不要不急の事業の見直しを含めて、ぜひ積極的に意見をお寄せください。

応募
方法

ホームページの
専用フォームから



「神戸市 with コロナ対応戦略(骨子案)」は
こちらからご覧になれます→



新型コロナ 対策強化で

教育長“できるところから 少人数学級に踏み出す”と表明

長引く新型コロナウイルス感染症の影響による、長期の休校は、学習の遅れと格差の拡大や深刻な子どもたちの不安とストレスをうみだしています。それらの対応と同時に感染拡大防止からも教職員の増員が必要です。

国の第二次補正予算には、「地域の感染状況に応じて、

小中学校の最終学年（小6・中3）を少人数編成するために必要な教員を加配（全国で3100人）」が措置されましたが、神戸市の補正予算（第2弾）には、計上されていません。

味口議員は、この「加配教員の追加配置」をただちに予算措置をして、少人数学級を実施すべきと求めました。

**答弁
ダイジ
エスト**

長田教育長：国の詳細な要件等が明らかになっていなかったことから今回の補正予算の計上は見送ることにした。

味口議員：長期休校による子どもたちの状況をみると、教員の加配は絶対必要。学校関係者からも教員を増やして欲しいという切実な声を聞いている。感染防止と子どもたちのケアの両方の観点から、できる学校からでも実施すべきだ。

長田教育長：ご指摘の国の予算は活用する予定であり、少人数指導の実施可能性の調査をし、とりまとめているところ。今後国に加配の要求を

し、人員を配置していきたい。

味口議員：学校の状況を踏まえて、できる学校から少人数学級を実施するということか。

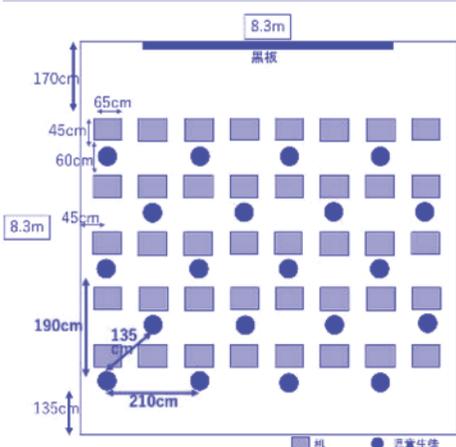
長田教育長：全ての学校でできるわけではないが、できるところから実施する。

味口議員：文科省はスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについても、学校の実情に応じて配置するとしているが、灘区はスクールソーシャルワーカーが欠員になっている。他の行政区でも1人というのが現状。カウンセラーも多い所で4回の配置にとどまっている。ただちに増員すべきだ。

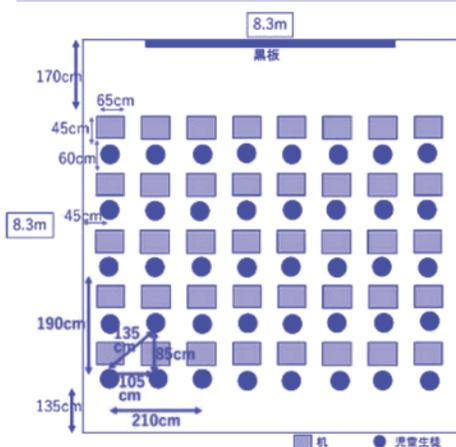
長田教育長：徐々にではあるが体制拡充に努めている。欠員は一刻も早く補充したい。

教室での身体的距離

(参考)レベル2・3地域(1クラス20人の例)



(参考)レベル1地域(1クラス40人の例)



学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」(文部科学省)

急いで現場に必要な支援を

補正予算第2弾では、市民生活の維持支援として、市立大学や高等専門学校の授業料・入学金の減免拡充や、妊婦へのタクシー利用料の助成などを実施。経済活動の維持・支援として、4月の補正予算をさらに拡充し、中小企業へのチャレンジ補助金の予算枠を10億円積み増しするほか、学校給食休止に伴う食材業者への補償や、アーティストやライブハウス等の新たな取り組みに係る経費補助などが盛

り込まれました。

こうしたなか、国民の強い願いを背景に、国・県・神戸市の各種支援策が実現しました。感染症の影響で深刻となっている市民生活と生業への援助となるこれらの支援策をいかに生きたものとするかが問われています。味口議員は、現在の支援の対象から外されたり、対象が狭いなど、必要な支援が届かない分野を無くし、簡素で速やかな給付の実施が必要だと質しました。

**答弁
ダイジ
エスト**

味口議員：シングルマザーの方はコロナによって仕事を失い、収入が落ち込んだ。住宅確保給付金を申請しても、児童手当などが収入加算され、基準を超えた額は引

かれて1カ月にたった1万1000円だと相談を受けた。これでは助けになっていない。市独自でも上乗せ支援もおこなうべきだ。

寺崎副市長：神戸市として上乗せの助成は考えていな

い。国の制度ではあるが、円滑に実施する立場から、お困りの方がそのような状況にあるのかは丁寧にくみ取って様々な生活支援につなげたい。

味口議員：経営継続支援金についても、対象業種が限定され給付が遅く、経営が苦しい店舗を救いきるものになっていない。国の持続化給付金と比べても非常に狭いという認識であるなら、せめて持続化給付金で認められている業種への対象拡大を県に求めるべきだ。

岡口副市長：休業要請対象外の事業者も影響をうけていることから、市独自の店舗家賃補助やチャレンジ支援金で、対象要件をもうけなかった。こうした例は他の政令市は見当たらず、神戸市の制度は踏み込んだ制度だ。

味口議員：さらに踏み込んだ対応が、今神戸の業者の実

態が求めているということを経験に据えて支援を強めるように要望したい。また各種制度を申請したが支給が遅いという声を聞いている。1週間で手元に届く「緊急支援金」を明石市など実施していたが、神戸市もつなぎのための貸付をする必要があるではないのか。

岡口副市長：議論したこともあるが神戸市の規模では難しい。県の休業要請金が遅れているのは申し訳ない。改めて要請する。持続化給付金については、国の制度であるがスムーズにあまねく事業者に行き渡るように市としてサポートをする。

味口議員：「難しい」で終わらせるのではなく、住民が一番近い市が、今市民と業者の暮らしのために、もう一步踏み込んで検討していただきたい。

森本真議員、朝倉えつ子議員が一般質問

6月26日(金) 11時30分頃より

インターネット生中継・録画中継 をご利用ください



お困りごとは1人で悩まず
日本共産党神戸市会議員団へ



東灘・灘・中央区 ☎351-2541 兵庫・長田・北区 ☎642-0448 須磨・垂水・西区 ☎753-5287